

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	8	1	利用人数が適切であるだけでなく、児童の様子によりレイアウトを変更して十分にスペースを確保できるよう心がけております。	国の定めた基準以上の広さを確保していることで、今後も児童の様子や特性に応じて適切にスペースを利用できるよう努めてまいります。	
	2	職員の配置数は適切である	9		国の定めた基準値以上の人員配置をしており、療育に関わる職員は全員有資格者です。		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		入口にベビーサークルを設置し安全面の強化を図っています。現時点では車いす利用の方の契約はありませんが、室内、トイレはバリアフリーになっており、室内を見渡しやすい環境にしております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	9		毎日サービス提供後に清掃をおこなっており、心地よく過ごせるよう環境を整えております。		
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	9		訓練室以外の場所も使用したり、レイアウトを変更したりして活動内容に合わせた空間を整えております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9		全職員が半年ごとの目標設定と、振り返りをおこない、各職員のスキルアップを図りながら業務改善を進めております。		
	7	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		毎年自己評価を実施して、保護者様にアンケート調査にご協力いただき、その意向を把握して改善につなげられるようにしております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	9		毎朝のミーティングや毎月のリフレクション会議等で自由に話し合える場を設け、意見交換や協議をして改善につなげられるようにしております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会や会社内で研修を開催する機会が確保している	9		年間予定を立てて研修を開催するだけでなく、いつでも閲覧できる研修動画も使って資質向上を図っております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている	9		支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	
	12	個々の児童に対してアセスメントを行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		個々の児童の発達段階と取り巻く環境の情報を収集して分析するだけでなく、児童や保護者様の意向・ニーズ・課題を適切に把握した上で児童発達支援計画を作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	9		児童発達支援管理責任者を中心に個別支援計画会議を実施し、職員間でしっかりと情報共有をおこない、共通理解の下で支援をおこなえるよう検討しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	9		職員間で共有し、具体的な支援方法を検討することで計画に沿った支援をおこなえるよう努めております。		
	15	児童の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	9		標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の状況（健康・生活、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性、認知・行動、運動・感覚等）を適切に把握し、日々の療育へつなげております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「地域支援」及び「地域支援・移行連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9		児童のニーズや、保護者様の意向に合わせて「発達支援」「家族支援・子育てサポート支援」「移行支援」等の項目別に具体的な達成目標、支援内容（内容・支援の提供上のポイント・5領域との関連性等）を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		管理者や児童発達支援管理責任者、また支援担当者の全員がチームとなって立案しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		活動内容は発達段階に応じて定着を図るため繰り返しおこなっていることもありませんが、楽しみながら取り組めるよう、工夫をおこなっております。長期休みにはイベントとして公共の場でのマナーを学ぶために戸外活動をしたり、算数や理科・社会科で学んだ内容を体験学習したりする等、日頃できない活動も取り入れております。		
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	9		児童一人ひとりのニーズと、課題に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援計画を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	9		毎朝、その日の利用児童の担当や役割分担を掲示し、全員で共有しております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	支援終了後もしくは翌日のサービス前に支援内容の振り返りをおこない、情報共有をおこなっております。	今後も支援終了後もしくは翌日のサービス前に振り返りの時間を設け、情報共有をしてまいります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		経過記録は、できたことだけでなく、苦手なことや課題も記録するようにして次の支援へ活かせるよう努めております。		
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	9		少なくとも6か月に1回はモニタリングを実施し、園や学校での課題や保護者様の願いも加味しながら、個々の成長に合わせた支援計画の見直しをおこなっております。		
	関係機関や保護者様との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参画している	9		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	9		保育所や幼稚園等の関係機関とこまめに連携を図り、よりよい支援をおこなえるよう努めております。	
26		併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		児童の発達の状況や保護者様の意向をアセスメントし、保育所や幼稚園等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図り、地域において保育・教育等を受けられるよう、後方支援の役割を果たせるよう努めております。		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		就学時には保護者様の意向も加味して、担当者会議の場を通して小学校との間で情報共有や相互理解を図っております。		
28		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている	9				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている	9				
30		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9				
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受けられる機会を設けている	9		現在は相談支援事業所を通じて連携を図っておりますが、直接助言を受けられる機会はありません。	今後は児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言を受けられる機会を設けられるよう検討してまいります。	
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会がある	9		保育所や幼稚園へ通われている児童が殆どのため、障がいのない児童との活動はできていると考えられます。	感染症へのリスクもあり交流をおこなえていませんが、今後は保護者様のご意向を踏まえて交流の機会を検討してまいります。	
33		日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		送迎時のやり取りや連絡帳を利用して保護者様と児童の状況や変化などの情報交換をおこない、共通理解を深めております。		
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	8	1	保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添って支援を心掛け、ご家庭で実践しやすい対応方法の提案や助言をおこなっております。	児童の特性や保護者様の抱えていらっしゃるお困りごとに対し、個別に対応方法の提案や助言を今後も行ってまいります。	
保護者様への説明責任等		35	定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		日頃からコミュニケーションを大切にしており、保護者様に寄り添い、子育てのお悩みやご相談を受けやすい関係を心掛けています。ご相談を受けた場合はご家庭で実践しやすい対応方法の提案や助言をおこなっております。	
		36	児童発達支援計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	9		児童発達支援計画を作成する前に、アセスメントの時点で、必ず児童や保護者様の意向を確認しております。	
		37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	9		支援内容についてより分かりやすいように、1つ1つ具体的に説明し、保護者様から計画の同意を得ております。	
		38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	9		保護者様だけでなく児童に関係する皆様に寄り添い、お悩みや相談をしたいと思っただけに関係づきり心掛けています。ご相談を受けた場合はご家庭で実践しやすい対応方法の提案や助言をおこなっております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	9			今後は保護者様のご意見をうかがいながら保護者様参加型の行事や保護者同士や保護者様と職員との交流機会等を検討してまいります。	
	40	児童や保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		相談や申し入れに対応できる体制は整えており、契約時に周知しております。また、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応しております。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	9		毎月事業所で「COMPASS だより」を発行し、療育（活動や行事）の様子やご案内を載せています。また、LINE公式アカウントやYouTube、Instagram、公式Webサイト等でも情報発信をしております。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意している	9		個人情報に関わる書類に関しては鍵付きキャビネットで保管管理し、十分に注意して取り扱っております。		
	43	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		専門用語などを避けて、分かりやすく丁寧な情報伝達を心がけています。児童の目の様子や連絡帳などでお伝えしていますが、送迎時には保護者様と直接お話をしより詳しい内容をお伝えしております。		
	非常時等の対応	44	事業所の、地域に開かれた事業運営を図っている	9		感染症予防の観点から今年度も地域の方をご招待する機会を設けることができおりません。	今後は保護者様のご意見をうかがいながら地域の方との交流機会を検討してまいります。
		45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		各マニュアルはすぐに確認できるよう入口に掲示しております。また、避難訓練は定期的実施しております。	
		46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		業務継続計画を策定し、年間計画として地震・火事・風水害などの避難訓練を実施し職員間の意識づけや連携を図れるよう努めております。	
		47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	9		アセスメントの際に保護者様から聞き取りをおこない、児童の服薬や予防接種・発作等について全職員が把握しております。	
		48	食物アレルギーのある児童に食う、医師の指示書に基づく対応がされている	9		アセスメントの際に保護者様から聞き取りをおこない、児童のアレルギーについては全職員が把握し、指示書に基づいて対応しております。	
		49	安全計画を作成し、安全管理に必要研修や訓練、その他必要な措置を講じた中で支援が行われている	9		安全計画を作成し、事業所・設備・施設外環境の安全点検をおこなったり、各種マニュアルの計画を策定して研修や訓練を実施しております。	
50		児童の安全確保に関して、家族等との連携を図るべく取組内容について、家族等へ周知している	9		何らかの災害が発生した場合の避難先を契約時や書面にてお知らせしたり、災害等を想定した避難訓練を定期的におこなった内容を報告しております。		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している	9		ヒヤリハットが発生した場合、詳細に記録し、共有しております。事例も職員間で共有し、定期的に振り返りに努めております。		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		事業所内でも虐待防止研修を開催し、適切な対応ができるよう研鑽しております。		
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、相續的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		事業所内でも身体拘束研修を開催し、適切な対応ができるよう研鑽してまいります。また、利用契約書に身体拘束についての記載があり、やむを得ず身体拘束を行う場合にはあらかじめ文面により保護者様の同意を得ております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。